

ワクチン接種を受ける人へのガイド

2024年5月更新

タイコバック水性懸濁筋注0.5mL

【このワクチンの名前は？】

販売名	タイコバック水性懸濁筋注0.5mL TICOVAC suspension liquid for intramuscular injection 0.5mL
一般名	組織培養不活化ダニ媒介性脳炎ワクチン Inactivated tissue culture tick-borne encephalitis vaccine

ワクチン接種を受ける人へのガイドについて

ワクチンの正しい理解と、重大な副反応の早期発見などに役立てていただくために、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、特に知っていただきたいことをわかりやすく記載しています。添付文書情報はPMDAホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に掲載されています。 ※副反応：ワクチンの副作用のこと

【このワクチンの効果は？】

- ・ このワクチンは、次の目的で接種されます。
ダニ媒介性脳炎の予防
- ・ このワクチンの接種によりダニ媒介性脳炎ウイルスに対する抗体ができ、ダニ媒介性脳炎にかかりにくくなります。

【このワクチンの接種前に、確認すべきことは？】

- ワクチン接種を受ける人または家族の方などは、このワクチンの効果や副反応などの注意すべき点について十分理解できるまで説明を受けてください。説明に同意した上で接種を受けてください。
- 医師が問診、検温および診察の結果から、接種できるかどうか判断します。
- 次の人は、このワクチンの接種を受けることはできません。
 - ・ 明らかに発熱（通常37.5℃以上）している人
 - ・ 重篤な急性疾患にかかっている人
 - ・ 過去にこのワクチンに含まれている成分で重度の過敏症のあった人
 - ・ 上記以外に医師が予防接種を行うことが不適切な状態にあると判断した人
- 次の人は、医師が健康状態や体質に基づいて、接種の適否を判断します。
 - ・ 自己免疫疾患のある人または自己免疫疾患が疑われる人
 - ・ 活動性脱髄疾患またはコントロール不良のてんかんなどの脳障害がある人
 - ・ 出血性疾患のある人、または抗凝固療法を受けている人

- ・ 過去に免疫に異常があると診断されたことがある人や両親や兄弟に先天性免疫不全症の人がいる人
- ・ このワクチンの成分に対してアレルギーをおこすおそれがある人
- ・ 心臓や血管、腎臓、肝臓、血液の障害や発育の障害などの基礎疾患がある人
- ・ 他のワクチンの接種を受けて、2日以内に発熱があった人や全身性の発疹などアレルギーが疑われる症状が出たことがある人
- ・ 過去にけいれんをおこしたことがある人
- ・ 腎臓に障害がある人
- ・ 肝臓に障害がある人
- ・ 妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・ 授乳中の人
- ・ 高齢の人

【このワクチンの接種スケジュールは？】

● 接種量および回数

〔初回免疫の場合〕

1回0.5mLを3回、筋肉内に注射します。

2回目の接種は、1回目の接種の1～3ヵ月後、3回目の接種は、2回目の接種の5～12ヵ月後に接種します。急いで免疫をつけたい場合には、2回目の接種を1回目の接種の2週間後に行うことができます。

〔追加免疫の場合〕

1回0.5mLを筋肉内に注射します。

- このワクチンの接種は16歳以上の人を対象です。
- 必要に応じて、3回目の接種の3年後に追加免疫を行い、以降は16～60歳では5年ごと、60歳以上では3年ごとの追加免疫を行います。
- 2回目の接種以降に接種が中断された場合は、できるだけ速やかに接種し、以降の接種を継続します。
- 医師が必要と認めた場合には、同時に他のワクチンの接種を受けることができます。
- このワクチンは0.25mL(小児用製剤)の接種対象者には接種できません。
- 初回免疫完了前にダニ媒介性脳炎ウイルスに感染するリスクがある場合(ダニ媒介性脳炎流行時期における流行地域への渡航など)は、その前にこのワクチンを2回接種します。

【このワクチンの接種後に気をつけなければならないことは？】

- ・ 接種当日は激しい運動をさけ、接種部位を清潔に保ってください。
- ・ 接種後は、健康状態によく気をつけてください。接種部位の異常な反応や体調の変化、高熱、けいれんなどの異常を感じた場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

- ・ 接種後に、ショック（冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失）、アナフィラキシー（全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい）がおこることがあります。接種後一定時間は接種施設で待機するか、ただちに医師と連絡をとれるようにしておいてください。
 - ・ 接種直後または接種後に、血管迷走神経反射*として失神があらわれることがあります。失神による転倒を避けるため、次のことを守ってください。
 - ・ 接種後一定時間は接種施設で座るなどして体調に変化がないか様子を見てください。
 - ・ 接種後に診察室から待合室などへ移動するときには、看護師などに腕をもって付き添ってもらってください。
 - ・ 接種後一定時間は、背もたれや肘かけのあるイスなど、体重を預けられるような場所で待っていてください。
 - ・ 待っている間は、なるべく立ち上がることを避け、座っててください。
- *血管迷走神経反射：注射を打ったときの痛み、恐怖、興奮などによる刺激が脳神経のひとつである迷走神経を介して中枢に伝わり、心拍数が減ったり、血圧が下がったりすることがあります。そのため、気分が悪くなったり、めまいやふらつき、失神などがおこったりします。
- ・ 妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
 - ・ 授乳している人は医師に相談してください。
 - ・ 他の医師を受診したり、他のワクチンを接種したりする場合は、必ずこのワクチンを接種したことを医師または薬剤師に伝えてください。

副反応は？

特にご注意ください重大な副反応と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副反応であれば、それぞれの重大な副反応ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師に相談してください。

重大な副反応	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
多発性硬化症 たはつせいこうかしょう	けいれん、目を自由に動かせない、見えにくい、二重に見える


重大な副反応	主な自覚症状
急性散在性脳脊髄炎 きゅうせいさんざいせいのうせきず いえん	頭痛、発熱、嘔吐（おうと）、意識の低下、目が見えない、手足が動きにくい、歩きにくい、感覚が鈍い
ギラン・バレー症候群 ギラン・バレーしょうこうぐん	両側の手や足に力が入らない、歩行時につまずく、階段を昇れない、物がつかみづらい、物が二重に見える、手足の感覚が鈍くなる、顔の筋肉がまひする、食べ物が飲み込みにくい、呼吸が苦しい
脊髄炎 せきずいえん	発熱、両足のしびれ・まひ、腰・背中の痛み、尿が出にくい、尿失禁、便が出にくい、便失禁
横断性脊髄炎 おうだんせいせきずいえん	発熱、両足のしびれ・まひ、腰・背中の痛み、便が出にくい、尿が出にくい、尿失禁、便失禁
脳炎 のうえん	発熱、まひ、意識の低下、頭痛

以上の自覚症状を、副反応のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副反応ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、けいれん、発熱、感覚が鈍い、まひ
頭部	めまい、意識の消失、頭痛、意識の低下
顔面	顔面蒼白、顔の筋肉がまひする
眼	目を自由に動かせない、見えにくい、二重に見える、目が見えない、物が二重に見える
口や喉	喉のかゆみ、嘔吐、食べ物が飲み込みにくい
胸部	動悸、息苦しい、呼吸が苦しい
背中	腰・背中の痛み
手・足	手足が冷たくなる、手足が動きにくい、歩きにくい、両側の手や足に力が入らない、歩行時につまずく、物がつかみづらい、手足の感覚が鈍くなる、両足のしびれ・まひ
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹
筋肉	階段を昇れない
便	便が出にくい、便失禁

部位	自覚症状
尿	尿が出にくい、尿失禁

【このワクチンの形は？】

容器の形状	性状
	振り混ぜるとき、均一な乳白色の懸濁液となります。

【このワクチンに含まれているのは？】

有効成分	不活化ダニ媒介性脳炎ウイルス
添加剤	人血清アルブミン、リン酸水素二ナトリウム二水和物、リン酸二水素カリウム、塩化ナトリウム、水酸化アルミニウム懸濁液、水酸化ナトリウム

【このワクチンについてのお問い合わせ先は？】

- ・ 症状、使用方法、副反応などのより詳しい質問がある場合は、医師または薬剤師にお尋ねください。
- ・ 一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ファイザー株式会社

(<https://www.pfizer.co.jp/pfizer/>)

メディカル・インフォメーション（患者さん・一般の方）

電 話：0120-965-485

受付時間：月～金 9時～17時30分

（土日祝日および弊社休業日を除く）